

ワークシフトプレイス Season2-2・開催報告

■テーマ：問いを解決する対話を始めよう～ステップ2：知識集約～

■日時：2013年11月21日(木)19:00～21:00

■場所：四谷地域センター 調理工作室

■当日の流れ

INTRODUCTION・自己紹介をしよう！



まず始めに、WSP 恒例、参加者同士の“関係性作り”を兼ねた自己紹介からスタート！
名前、どんな仕事をしているか、ワークシフトプレイス(WSP)へなぜ参加したのか等、
ご自身の背景も交えながら、ざくばらんに話していただきました。

このセクションのポイントは“対話”です！

対話によって相手の言葉を共有し、共感することで関係性作りがスムーズにいくことを、
皆様に体感して頂けたことと思います。

1・ワークシフトプレイス (WSP) とは？

ここで、ワークシフトプレイスについて、おさらいです。

このワークシフトプレイスが大切にしていること、それは「問いの立て方」です。

“どのように「問い」を立てたら相手の心に訴えることができるだろうか”、

“相手の頭を働かせられるのか”、このような視点で「問い」考えることで「良質な問い」が生まれます。

「良質な問い」を立てることが出来れば、問題解決へのプロセスもスムーズにいくというわけなのです！

2・知識集約～オープンスペーステクノロジー (OST) ～

WSP の説明の後には、いよいよ今回テーマ「知識集約」です！

今回は、知識集約のステップを、“オープンスペーステクノロジー(OST)”という手法を使って行いました。

☆ “オープンスペーステクノロジー(OST)”とは？

OST とは、メンバーの中から話し合いたいテーマを幾つか募り、

テーマごとに分かれて対話を重ね、アイデアや知識を集約する手法のことです。

ポイントは、どうしても話し合いたいテーマをお持ちの方に旗上げして頂くということです。

その他のメンバーの方は、旗上げされたテーマの中で、聞きたいところに聞きに行ってください。

☆テーマのお題『〇〇が喜ぶ××な働き方を作りたい(話し合いたい)』

WSP では、話し合いたいテーマを考えるための“お題”を設定し、

このお題について、「話し合ってみたい！アイデアが欲しい！」と思うテーマを、メンバーの皆さまに個々人で考え出して頂きました。

3・知識集約～オープンスペーステクノロジー（OST）②・テーマ決定！～



個々人でテーマを考え出して頂いた後は、話し合うテーマを、メンバーのドット投票で決定しました！

☆テーマ決定～お題『〇〇が喜ぶ××な働き方』について～

ドット投票によって、4つのテーマが選出されました！

1) 身体が喜ぶ、知的な働き方

2) 中小企業の社長が喜ぶ、儲かるけど新しい働き方

3) 若い人が喜ぶ、ヒューマンな働き方

4) Y世代(1980年ー1995年生まれ)が喜ぶ、ちょっと変わった働き方

テーマが決定した後は、いよいよ OST がスタートです！

選出されたテーマを考え出した人を“テーブルマスター”とし、

その他メンバーの皆さまには、好きなテーマごとに分かれていただきました。

まずは、テーブルマスターの方にテーマの説明をして頂き、

そのあと「それぞれのテーマが実現するための一歩」について、

個々人のアイデアを交流させながら、じっくり時間をかけて“対話”をして頂きました。

4・知識集約～オープンスペーステクノロジー（OST）③・実現するための一歩～



約 30 分間の“対話”の後は、テーマごとに「実現するための一歩」について発表して頂きました！

1) 身体が喜ぶ、知的な働き方

●実現するための一歩

自然を感じる環境の中で、一日をリセットする！

2) 中小企業の社長が喜ぶ、儲かるけど新しい働き方

●実現するための一歩

ワクワクしながら、売り上げを考える多様な場をつくる！

3) 若い人が喜ぶ、ヒューマンな働き方

●実現するための一歩

やり直しが効く働き方が出来る世の中にするため、ミッションを持って働く場をつくる！

4) Y世代(1980年ー1995年生まれ)が喜ぶ、ちょっと変わった働き方

●実現するための一歩

どこにいても、どんな人とも、ゆるやかに繋がれる組織をつくる！

5・クロージング~次回のWSPは?~



次回テーマは、「本質発見」です。この本質発見では、話し合った事を「いいね！」で終わらせないために、テーマの具現化に向け、本質を掘り下げていきます。是非、次回WSPもお楽しみに！